

団体名：奥州市世界遺産登録候補地ガイドの会

様式第5号（事務取扱関係）

市民提案型協働支援事業実績書

補助金コース	ステップアップコース	
事業の名称	世界遺産拡張登録応援事業	
事業の成果	<p>「衣川歴史散策ウォーキング」では参加者数は少なかったものの地元に住ながら知らなかった郷土史を学べ新発見もあったとの声もありました。</p> <p>「講演会」では、宮城からの来訪者から「レベルが高い講座でマニア向けだった」との指摘や、紫波からの来訪者からは比爪館と平泉の関係が判って非常に勉強になったとの声も寄せられ、地元以外からも聴講に来ていただいた。</p>	
事業の実施状況	実施期間	平成28年6月1日～12月12日
	実施場所	市内衣川地区及び前沢ふれあいセンター
	実施内容	<p>○「歴史探訪ウォーキング」</p> <p>平成28年9月4日（日） 市内衣川区域 歴史愛好家13名が参加。 古戸古戦場跡～一首坂～磐神社～安倍館などを約5キロ、2時間余りで探訪。郷土史を学び郷土の関心を深めた。</p> <p>○「郷土史を学ぼう」講演会</p> <p>平成28年11月13日（日） 前沢ふれあいセンター 市内外から考古学ファン、歴史愛好家60人ほどが聴講。 羽柴直人氏（岩手歴史考古学会 文学博士）の基調講演。 野坂晃平氏（えさし郷土文化館）、島田祐悦氏（横手市教育委員会文化財保護課）による研究発表。及川真紀氏（奥州市世界遺産登録推進室）がコーディネーターを務めパネルディスカッションを実施。平泉・衣川・江刺・紫波・横手の関連について詳しく解説があった。</p>
事業実施における役割分担	提案者が担った役割	事業の企画・実施
	市が担った役割	共催：市教育委員会 広報での事業告知
	その他の団体が担った役割	
事業の見通し	講演会は古代、中世史、考古学とかなり専門的な内容となり、参加者が限られる中で毎回高い評価を受けている一方、参加者が伸び悩んでいる。開催日時、開催場所等を再検討し、継続していきたい。	
今後の課題	これまで「ウォーキング」3回、「講演会」4回実施してきたが、市内拡張登録を目指す2遺跡の登録実現に向け、将来を見据えた事業も模索しながら、市内外の方々の気運醸成を高め、引き続き登録に向け頑張りたい。	

備考

- 1 事業の成果、事業の実施状況、事業の見通し及び今後の課題は、詳細に記入すること。
- 2 事業実施に関する成果品、写真その他の参考資料を添付すること。

市民提案型協働支援事業収支 決算書

1 収入

(単位:円)

項目	当初 予算額	決算額	増減額	説明
泉14年 補助金	86,000	66,000	減 20,000	市民提案型協働支援事業補助金 不行10ア40人又 88127X54
自己資金	42,740	43,467	増 727	
合計	128,740	109,467	減 19,273	

2 支出

項目	当初 予算額	決算額	増減額	説明
報償費 旅費	60,000 10,000	50,000 0	減 10,000 減 10,000	講師謝礼交通費 2人x20000・1人x12000 計 50,000円 宿泊費
消耗品費	5,500	2,437	減 3,063	白色7色用紙 1,800 F70 100-721VBox 537 計 2,437円
食料費	7,600	6,190	減 1,410	講師昼食代 4人x1000 沐卡7. 其中対策担当給 料代 2,190 計 6,190円
印刷費	27,000	28,000	増 1,000	木型-原稿企画料(外注) 3,000 木型-印刷代2版1000(外注) 2,500 計 28,000円
委託料	1,500	1,500	0	会場内横断幕作成 1,500 計 1,500円
保険料	3,800	0	減 3,800	
対象外経費	13,340	21,340	増 8,000	講師昼食代不足(お茶代含) 2,150 会費昼食代(お茶代含) 5,670 調査行動費(講師依頼) 3,000 旅費交通費(ガリ代) 5,000 講師の土産代 4,520 計 21,340円
合計	128,740	109,467	減 19,273	